



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

加小っ子だより

令和6年11月29日 No.29

このところ、ぐっと寒くなったと思ったら、また少し暖かくなったりと気温が安定していませんね。服装での調節など体調管理に気を配ってください。

11月も最終週に入り、週が明けると12月です。はやいもので2024年も残り一か月となりました。今回の加小っ子だよりでも、11月の各学年の授業や出会い学習等、学校での活動の様子をお伝えします。



先生から絵本を読んでもらったよ

11月20日(水)、全学年で絵本の読み聞かせがありました。

毎週水曜日には、読み聞かせボランティアの方が来校し、読み聞かせをしていただいているのですが、この日は、本校教員が自分の担任しているクラス以外のクラスに行って絵本の読み聞かせを行いました。

各先生方が絵本を選び、自身が担当している学年とは違う児童に読み聞かせをすることで、普段とは違う雰囲気の中で絵本に触れることができました。

ご家庭でもお時間に余裕があるときに、絵本の読み聞かせやお子様が活字に触れる機会を作っていただくことにご協力いただけると幸いです。



消防車や救急車を見学しました

11月20日(水)、1年生が国語「じどう車くらべ」の授業の一環で、鈴鹿市中央消防署北分署に行って消防車や救急車の見学をさせていただきました。

消防士さんに、消防車や救急車がどんな仕事をしているのかを実物を見せていただきながらいていないに説明していただきました。

また、消火活動の時に使う空気ポンペを消防士さんが実際に背負い、顔面に空気マスクを装着する様子や放水の様子も見せていただきました。



消防士の方からは、「空気ボンベを背負って入る火事の現場はとても危険な現場です。自分の身を守るために日々の訓練が大事。また、自分のいのちを守る装具は、毎朝欠かさず細かく点検します。」と教えていただきました。そして最後に子どもたちには「火事を出さないことが一番大事。みんなはマッチやライターを使って絶対に遊ばないで。」とメッセージをいただきました。



Jアラートの訓練放送がありました

年に数回、全国瞬時警報システム(Jアラート)や緊急地震速報の訓練放送があります。

11月20日(水)にもJアラートの訓練放送がありました。

その際、本校の子どもたちは、即座に一次避難として、机の下にもぐったり、頭を守る姿勢をとることができます。避難訓練の成果だと考えています。

緊急時には“想定外のことが起こる”と考え、“自分の身は自分で守る”という意識を持ち、行動に移すことは大事なことでと考えています。



ブロッコリーの成長を見とどけよう

11月22日(金)、2年生が、生活科の授業の一環でブロッコリーの苗を1人1株定植しました。

職員室の南側日当たりのいい場所を、自分たちで除草作業をし、土を起こし植えました。植えた後は、苗の様子を観察し、葉の形や色などのスケッチをして、文章にまとめました。これから育てていき、3月頃には収穫できる予定です。楽しみです。



収穫したお米を炊いておいしくたべました

5年生が炊飯とお味噌汁の調理実習をしました。

炊飯では、4月から取り組んでいた稲作体験で収穫したお米を炊きました。

また、食育の一環として、煮干しやシイタケ、昆布で取った出汁の味や香りについても実食して違いを味わいました。出汁を取った後の煮干しやシイタケ、昆布は煮ておかずとしておいしくいただきました。

稲作体験で指導して下さった、まちづくり協議会の方にも来校いただき、調理実習の様子を参観していただきました。また、子どもたちとおしゃべりしながら炊きたてのご飯を食べていただき、新米の味わいや収穫の喜びを子どもたちと一緒に実感しました。



図書館まつりを開催しました

1学期に引き続き、図書館まつりが開催されました。

この期間は、図書委員さんによる絵本の読み聞かせを行いました。みんなに聞いてもらうためには練習をして臨む必要があります。当日はみんなの前で、気持ちを込めて読み聞かせを行うことができました。

図書室に来た子どもたちは事前に配付したスタンプカードにスタンプを押してもらっていました。スタンプを集めて、素敵なプレゼントがもらえるといいですね。

図書室に来て、目にとまったり、気になった本を手にとって読んでみましょう。



白鳥中学校区人権フォーラムが開催されました

11月26日(火)、白鳥中学校区人権フォーラムが白鳥中学校で行われました。加佐登小学校からは6年生5名が代表して参加してきました。

フォーラムでは「違いを認め合う仲間づくり」をテーマに、各校から集まった子どもたちが、学校生活の中で起こる身近な人権問題、いじめについて、日常的にありそうな事例を用いて、子どもたちが体験や見聞きしたことなども交えて、なくしていくにはどうしていったらいいのかを話し合いました。話し合った内容は、各校に持ち帰って、全校やクラスに還流して、白鳥中学校区全体でいじめのない学校を目指していきます。

